

第6回 東北ブロック支部 学術集会

東北の地に

今こそ咲かそうプライマリ・ケアの花



人を育てよ

百年を慮るものは

木を植えよ

三十年先を楽しむものは

花を植えよ

一年先を楽しむものは

花を活けよ

今日を楽しむものは

会 期

平成28年9月10日(土)~11日(日)

14時~18時 10時~12時半

集会会場

山形市保健センター(霞城セントラル3階)

学術集会長

医療法人宏友会 上田診療所(酒田市) 矢島 恭一

主 催 日本プライマリ・ケア連合学会東北ブロック支部

後 援 山形県医師会、山形県薬剤師会

プログラム 1日目

9月10日(土) 山形市健康センター 大会議室

14:00 開会式挨拶

学術集会長(医療法人宏友会 上田診療所)	矢島 恭一
東北ブロック支部 支部長	葛西 龍樹
日本プライマリ・ケア連合学会 理事長	丸山 泉
山形県医師会副会長	中目 千之

14:30～16:00 シンポジウム1

東北の未来を創る～総合診療の花を咲かせるために～

企画担当 高橋 潤 公立置賜総合病院 総合診療科

これから多くの総合診療専門医研修プログラムが新設されると思います。
新しいプログラムの責任者は何をどうやっていけばいいのかわからないのが
正直なところではないでしょうか？

プログラムの状況や今後の展望などを教えていただき、お互いの顔が見える状態
を作り連携を深めプログラムの質を上げることができないか、東北に総合診療を根付
かせるにはどうしたらいいかを考えたい。

基調講演 『総合診療専門医制度の現状と今後の方向性について』
前野 哲博 日本プライマリ・ケア連合学会副理事長
筑波大学付属病院総合診療科

シンポジスト 黒田 仁 東北大学病院総合地域医療教育支援部
千葉 大 八戸市立市民病院
坂戸慶一郎 健生黒石診療所

16:15～17:45 シンポジウム2

チームで取り組む在宅医療

～多職種による連携の花を咲かせるために～

企画担当 星 利佳 プライマリ・ケア認定薬剤師
佐藤 裕邦 (医)宏友会 老人保健施設うらら

医師主導の在宅医療ではなく、多職種がより密接に連携して、医療の質をいかに
上げるかが、今差し迫った課題となっています。各々の職種が在宅医療において
課題と考えることを多職種で検討し、単独の職種ではできなくてもチームならより
良い在宅医療が出来ることを共感できればと思います。

シンポジスト 青沼 孝徳 桶谷町国民健康保険病院 管理者(医師)
山川 一枝 訪問看護ステーションやまがた所長(看護師)
篠田 太郎 ハート調剤薬局 訪問薬剤師(薬剤師)
小川 豊美 株式会社とよみ オープンハウス奏 代表取締役(管理栄養士)
小池千恵子 天童市社会福祉協議会(ケアマネジャー)

プログラム 2日目

9月11日(日) 山形市健康センター

10:00～12:00 WS1 ストレスチェック制度のABC

場所 視聴覚室

職場ストレスによるメンタルヘルス不調者の増加に対し、ストレスチェック制度が義務化されました。産業医ならびに人事労務担当者から「ストレスチェック制度をどう運営し、どう活かせばよいのかわからない」という相談をよく受けます。このワークショップでは医師による面接指導(デモンストレーションあり)と事後措置に焦点を当て、産業医だけではなく人事に関わるスタッフの皆さんの理解も深めるような2時間にしようと思います。

企画担当 後藤 剛 山形さくら町病院 精神科・産業医

ファシリテーター 丹治 治子 上山ファミリークリニック 内科

※日本医師会産業医研修単位を申請中です。

10:00～12:00 WS2 若手が繋がり、進化するポスターセッション

場所 大会議室

プライマリ・ケアを担う若手医師たちが日ごろの取り組みや気づき・学びを発信します。彼らの発表は日常診療の集大成であり、それ自体が学び多きものであることは間違いありません。また、それらは東北の、ひいては日本のプライマリ・ケアを盛り上げる火種となる可能性を秘めています。「見て、聞く」だけの従来のポスターセッションの枠に留まらず、発表者と参加者がその場でグループディスカッションをおこなって内容を昇華させるという、「繋がり、進化させる」新しい形のポスターセッションを目指しています。すべての参加者が協同演者です。お一人でも多くの参加をお待ちしております！

企画担当 若手医師東北ブロック部会

講評者 菅家 智史 福島県立医科大学医学部 地域・家庭医療学講座

※この会場では、同時に一般演題のポスター発表及び後期演習プログラム紹介コーナーを設けますので、奮ってご参加下さい。

10:00～12:00 WS3 地域NSTをやってみよう！

～「口から食べる」を諦めない～

場所 ふれあいの間(和室)

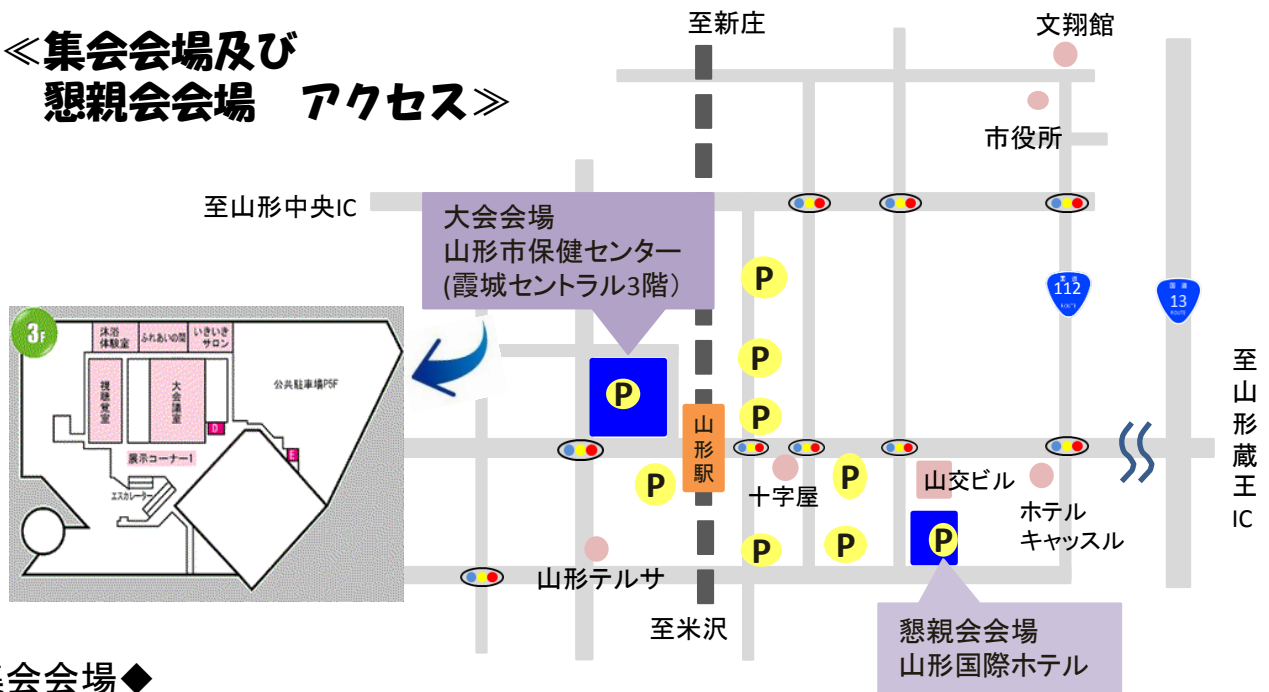
現在『NST』の必要性に対する認識はかなり広まっています。入院時に栄養スクリーニングを行い栄養学的リスクのある患者に対し栄養アセスメントを行うことは患者の治療法選択や予後予測に役立ち、又、早期からNSTが介入することで入院期間が短縮する効果も示されています。しかし、栄養状態の改善した患者は退院後、在宅・施設に戻ります。切れ目のない在宅医療を目指すならNSTだって地域でやってみましょう！！

NSTで活躍中の高橋さんと、在宅栄養指導を行っている齋藤さんの症例をもとに多職種で『地域NSTの可能性』について考えるカフェスタイルのワークショップです。おいしいお菓子を食べながら食べる楽しさ・大切さを語り合ひましょう。(お気に入りのお菓子を少しご持参下さい) いろんな職種の方々のたくさんのご参加をお待ちしております。

企画担当 星 利佳 プライマリ・ケア認定薬剤師

ファシリテーター 高橋 瑞穂 県立中央病院(管理栄養士)
齊藤 広美 新庄徳州会病院(管理栄養士)

《集会会場及び 懇親会会場 アクセス》



◆集会会場◆

山形市保健センター(山形市城南町1-1-1 霞城セントラル3階)

- ・JRでお越しの方
山形駅西口より徒歩3分 東西自由通路(アピカ)直結
- ・車でお越しの方
最寄りIC・・・山形自動車道 山形蔵王IC

◆駐車場のご案内◆

霞城セントラルパーキング
西口駅前駐車場
山形駅東口側 パーキング多数あり
※いずれも有料です

◆懇親会会場◆

山形国際ホテル(山形市香澄町3-4-5)

- ・山形駅東口より徒歩5分(駅前大通り直進、山交ビル南側)
- ・山形市保健センター⇄山形国際ホテル 徒歩10分

事前参加申込書

FAX送信先:0234-27-3308

締切日 8月20日

右のQRコードでアクセス頂きますと携帯電話からもお申し込み出来ます。



申込者氏名:	所属名:	職種:
住所(〒)	TEL:	FAX:
Email:		
参加予定(☑を入れて下さい)		
<input type="checkbox"/> 9月10日(土) シンポジウム	<input type="checkbox"/> 懇親会	
<input type="checkbox"/> 9月11日(日) WS1 ストレスチェック制度のABC		
<input type="checkbox"/> 9月11日(日) WS2 若手が繋がり、進化するポスターセッション		
<input type="checkbox"/> 9月11日(日) WS3 地域NSTをやってみよう! ~「口から食べる」を諦めない~		
会費	医師・薬剤師 3,000円	学生 無料
懇親会費	一般 5,000円	学生 2,000円
	その他医療・介護従事者	1,000円

なるべく事前申込をお願いします。申込みされる方は、同封の振替用紙で会費等をお振り込み下さい。託児所を設置予定です。利用をご希望の方は、事前に事務局までお申し出下さい。

<お問い合わせ先(大会事務局)>

医療法人宏友会 上田診療所 担当 星川 遥 TEL:0234-27-3306 / FAX:0234-27-3308

Email: bz152327@kouyuu-kai.or.jp